

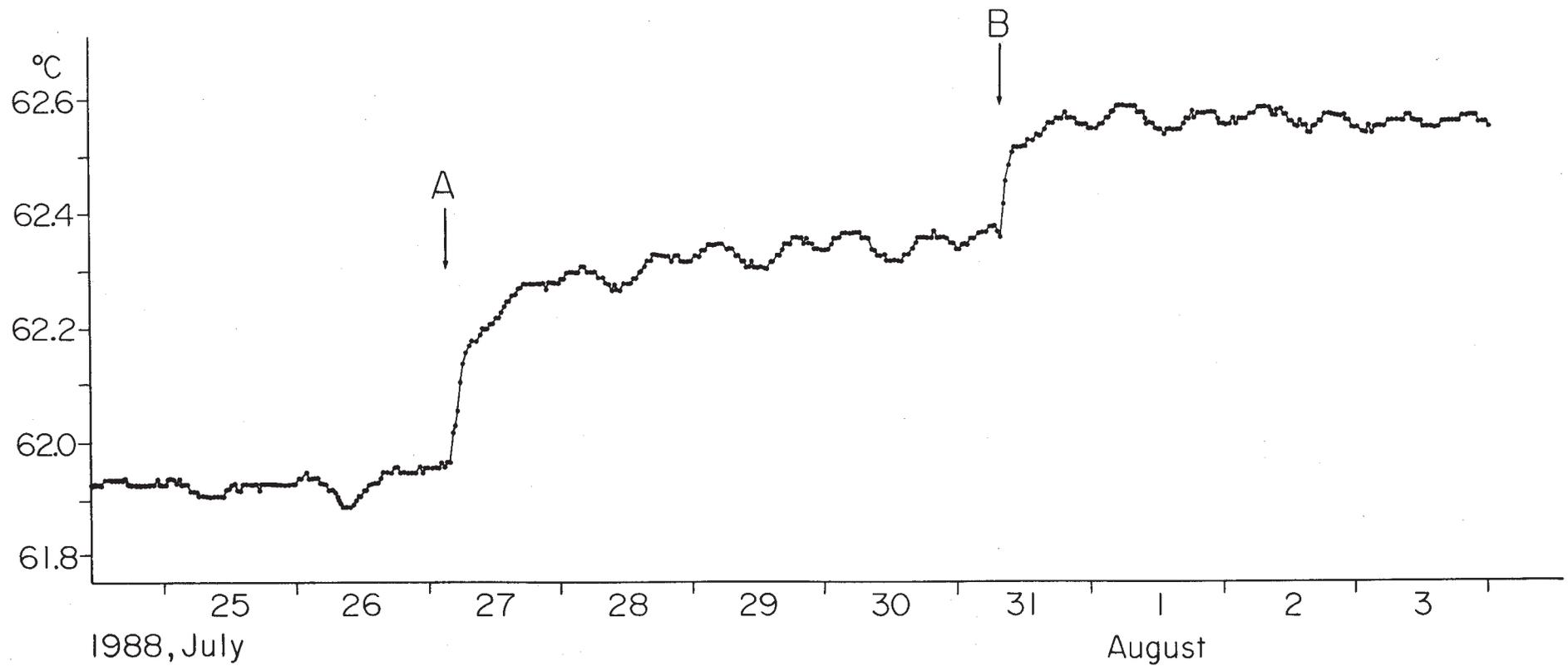
4 - 10 1988年7月～8月の伊豆半島東方沖群発地震に伴う
宇佐美24号泉の温度変化(1951年～1987年)
Changes in Temperature of the Usami No. 24 Hot Spring in Relation to the 1988
(July - August) Izu-hanto-toho-oki Earthquake Swarm

東京大学地震研究所
宇佐美温線供給会社

Earthquake Research Institute, University of Tokyo
Usami-Onsen-Kyokyu-Kaisha

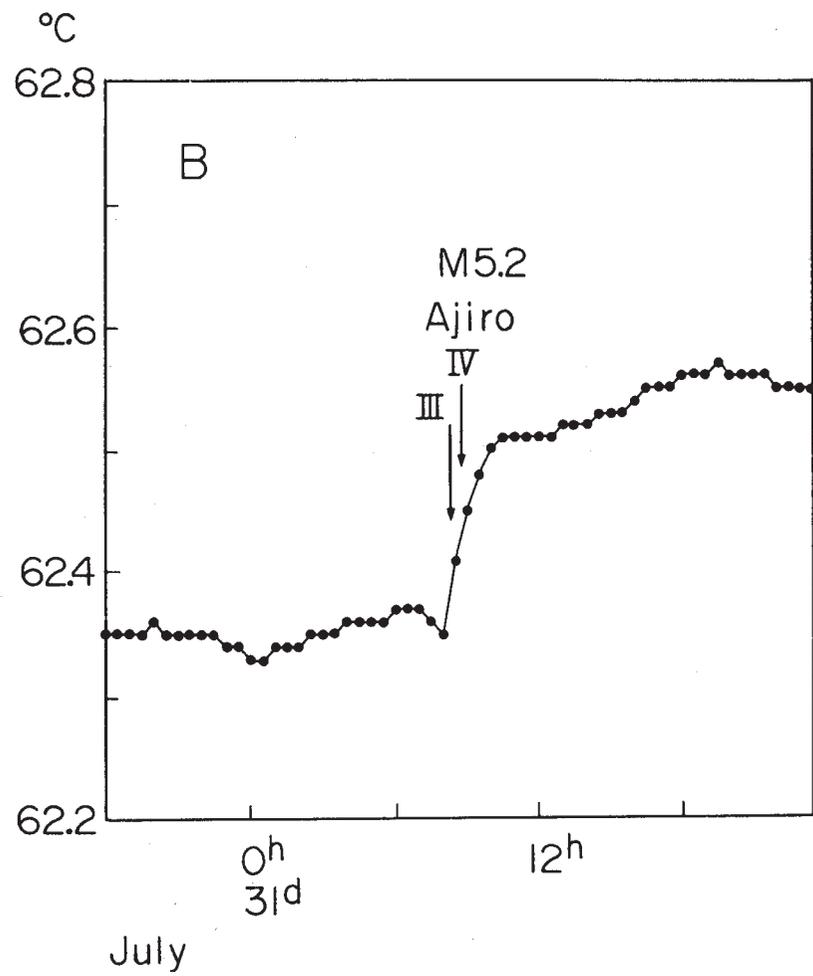
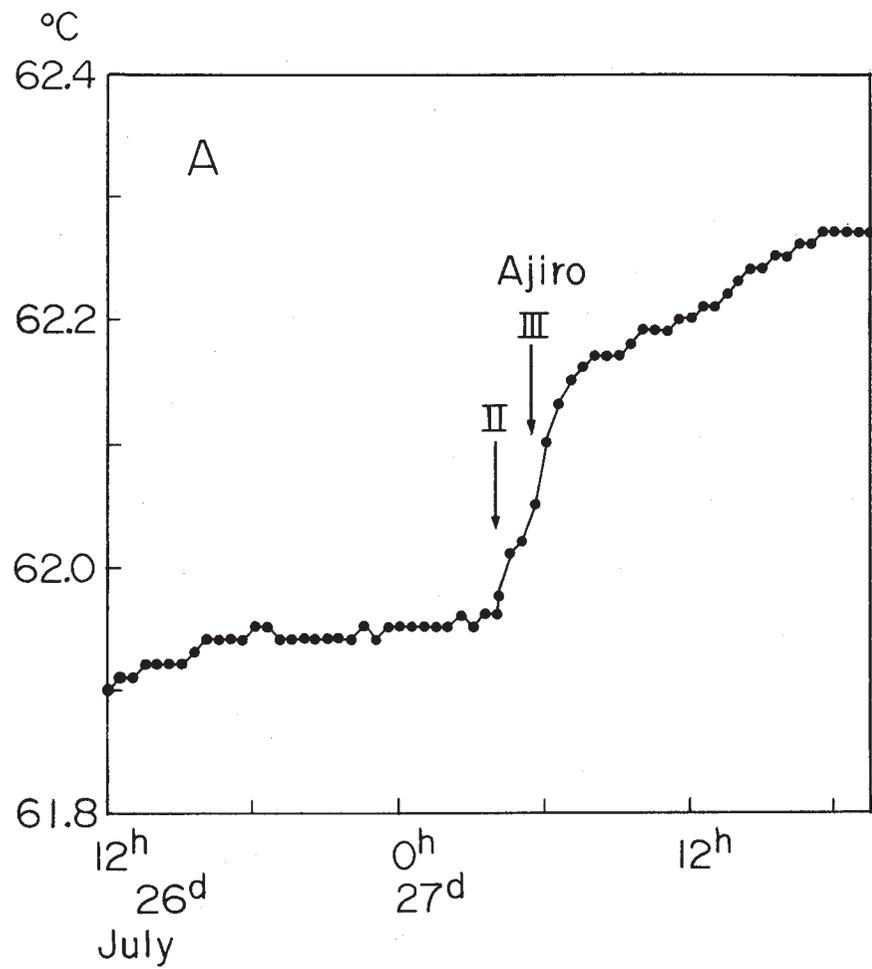
1988年7月26日から始まった伊豆半島東方沖群発地震は1980年の活動以来の極めて活発なものであったが、これまで連続観測を続けている宇佐美24号泉の温度に明瞭な変化が認められた。第1図は群発地震活動が最も活発な期間の温度変化を示したものであるが、7月27日及び31日にステップ状に0.2℃前後上昇した。これらの変化はそれぞれ第1活動期及び第2活動期中の最も大きい地震の時に起こった。第2図にこの2つの場合の温度変化曲線と大きい地震の発生時期をやや詳しく示した。いずれの場合にも2つの主な地震が連続して温度が顕著に変化した。

(茂木清夫, 望月裕峰, 黒川義男)



第1図 1988年の伊豆半島東方沖群発地震に関係した宇佐美24号泉の温度変化

Fig. 1 Changes in temperature of the Usami No. 24 hot spring in relation to the 1988 Izu-hanto-toho-oki earthquake swarm.



第2図 7月27日及び31日の地震による温度変化

Fig. 2 Coseismic changes in temperature of the Usami hot spring due to earthquakes on 27th and 31st, July 1988.